

武藤教授著作論文目錄

著書之部

- | | | | |
|---|--|------------|---------|
| 1 日英交通史 | (經濟學全集二八・田崎仁義、坂西由藏、武藤長藏、加藤繁氏等共著) 世界經濟史收錄 | 發行所 | 昭和 八、二一 |
| 2 A Short History of Anglo-Japanese Relations | (Hokuseido Press, 1936) | 北 星 堂 | 一一、六 |
| 3 日英交通史之研究 | | 内外出版印刷株式會社 | 一一、四 |

論文之部

(I) 鐵道交通の經濟的法律的及歷史的研究

- | | | | |
|---------------------|-----------|-----|---------|
| 論 題 | 掲載雜誌名 | 卷 號 | 發行年月 |
| 1 南滿鐵道之研究 | 長崎高商學友會雜誌 | 六 | 明治四二、一一 |
| 訂 正 追 錄 | 同 | 七 | 四三、二 |
| 2 南滿洲鐵道今回の運賃改正に就て | 國民經濟雜誌 | 七、五 | 四二、一一 |
| 3 南滿洲鐵道と他の運送機關との關係 | 同 | 八、三 | 四三、三 |
| 4 電鐵の貨物運送其他の兼營收入に就て | 長崎高商學友會雜誌 | 八 | 四三、六 |

5 電氣鐵道論

- (一)
- (二)
- (三)
- (四)
- (五)
- (六)
- (七)
- (八)
- (九)
- (十)
- (十一)
- (十二)
- (十三)
- (十四)

日本經濟新誌

- 六、八 明治四三、一、一八
- 九 四三、二、三
- 一一 四三、三、三
- 一二 四三、三、一八
- 七、六 四三、六、一八
- 七 四三、七、三
- 八 四三、七、一八
- 九 四三、八、三
- 一一 四三、九、三
- 八、一 四三、一〇、三
- 二 四三、一〇、一八
- 三 四三、一一
- 四 四三、一二、一八
- 七 四四、一、三
- 一一 四五、一
- 一二、四 四五、七、一五
- 四 四五、七、二〇

6 市街鐵道研究の一節

訂正追錄

7 市街鐵道

長崎高商學友會雜誌

同

大日本百科辭典編輯所編纂
經濟大辭書(同文館發行)

8 持參入式貨物引換證	國民經濟雜誌	一〇、三四	明治四四	四三
9 商法改正と貨物引換證	日本經濟雜誌	八九、一二	同、三、四、五	
10 本邦鐵道史上第一頁に記載さるべき事蹟に就て	鐵道五十年祝典記念講演集・門司鐵道局長崎高商研究館年報	二	大正一〇	
11 鐵道に關する知識の我國に傳はりし門戶としての長崎	商業と經濟	一一、三		
12 鐵道に關する知識の支那を通じて我國に傳はりし場合に就て	東亞經濟研究	六、一	一一、二	
13 徳川時代の汽車(我鐵道史上の新發見)	大阪毎日新聞		一三、一〇	二六五
14 我國鐵道史上の山口	國民新聞		一三、一〇、一八	
15 鐵道に關する知識傳來史上の山口縣(一)	東亞經濟研究	一〇、二		
同 (二)	同	一〇、三	一三、七	
16 Nagasaki, das Einfallstor für die Eisenbahnen in Japan	Archiv für Eisenbahnwesen,		Jahrgang 1931—Heft 2 März-April	
17 鐵道經濟に關する文獻の經濟學史的研究	長崎高商研究館發行經營學講演集		昭	三、二二
18 鐵道の國民經濟上の特質を論じ、鐵道の經營主義及鐵道制度に及ぶ	日本經營學會「官營及び公營事業」經營學論集	四		五、一〇
19 グラッドストーンの鐵道政策(祝賀記念論文)	商業と經濟	一四、一		八、八
20 財政學者の鐵道經濟に關する研究論著に就きて	神戸博士還曆祝賀記念論文集	經濟叢	四四、五	一一、五
(交通特に鐵道に關する文獻の經濟學史特に財政學的研究——財政學と交通論との交渉——)				

(II) 經濟史、經濟學史及其他の學術史上の研究

一、アーノルド・トインビー (Arnold Toynbee) 之研究

- 1 アーノルド・トインビー 金井教授在職二十一年最近社會政策」五年記念論文集
- 2 アーノルド・トインビーの遺稿 國家學會雜誌 三一、二 六、二
- 3 アーノルド・トインビーの性行 同 三二、一 六、九
- 4 アーノルド・トインビーと經濟書 經濟論叢 四、三 六、三
- 5 アーノルド・トインビーと英米佛獨の經濟書 大阪高商・商業及經濟研究 七 六、七
- 6 アーノルド・トインビーに感化を與へし人々 同 九 七、一
- 7 トインビー父子とラスキン 長崎高商學友會雜誌 二二、二四 六、三
- 8 アーノルド・トインビトと勞働者教育 社會政策學會編叢「小工業問題」收錄
- 9 アーノルド・トインビーと勞働者教育 學友會雜誌 二四
- 10 セツトルメントの母トインビー館 社會事業 一九、三 昭和一〇、六
- 11 アーノルド・トインビーを憶ふ 長崎高商學友會雜誌 二〇 大正五、七
- 12 「アーノルド・トインビーを憶ふ」と題する予の講演の註釋 同 同

二、ジヨサイア・チャイルド (Sir Josiah Child) 之研究

1 ジョサイア・チャイルド著「新貿易論」

國民經濟雜誌

一一、二 大正 六、二

2 再びジョサイア・チャイルド著「新貿易論」に就て

同

一一、三 六、三

3 拙稿チャイルド著「新貿易論」に就て

同

一一、四 六、六

4 我校所藏ジョサイア・チャイルド著「新貿易論」の各版に就て

商業と經濟

一 一一

Sir Josiah Child に就ては日英交通史之研究、第二篇日英交通史料中日英交通史料(十五)及第四篇舊(倫敦)東印度會社

と我國との交通貿易、再論(一)の卷頭に掲ぐる第三十六圖に Sir Josiah Child の肖像を載す。

三、アダム・スミス (Adam Smith) 之研究

1 アダム・スミスの生涯と其著作(其一)(其二)(其三) 商業と經濟

四、五、五、二 大正 一一、二、一
二、一 一三、一七

2 アダム・スミスの名、其生涯、及其學說等を早く我國に傳へたる蘭文經濟書

經濟論叢「アダム・スミス記念號」

一三、一

四、ジョン・スチュアート・ミル (John Stuart Mill) の研究

1 ジョン・スチュアート・ミル略年譜

商業と經濟

四、二 大正 一一、一

2 婦人參政運動とミル及其夫人

月刊長崎

創刊號 一三、三

五、マルサス (Thomas Robert Malthus) 及人口論の研究

1 「長崎に保在され居る古き翻譯書及び著書中人口を論ずる書籍」に就て」

長崎高商學友會雜誌

二六 大正 八、二

2 臺灣に於ける人口制限の奇習に就て

臺灣時報

昭和五、一二

マルサス及びモンテスキュー等の著書中の記事の根本資料としての蘭書

六、ケリー(Henry Charles Carey)の研究

米國經濟學史上のケリーと其著述

長崎高商研究館彙報

四、四 大正一三、一〇

七、W. J. Ashley の研究

牛津大學經濟學教授候補者としての W. J. Ashley

社會經濟史學

創刊號 昭和六、五

八、アキノの聖トマス(Si. Thomas Aquinas)の研究

聖トマス原著 Summa Theologica の漢譯「超性學要」に就いて

福田徳三博士追憶論文集

昭和八、四

九、カント (Immanuel Kant) の研究

1 我國に最も早く傳はりたりと思はるゝカントの著述

商業と經濟

五、一 大正一三、七

2 カント著「人生論」とツウンベルクの長崎出島滞在記

同

八、二 昭和三、三

3 故左右田博士記念會講演(其二)所感

如水會々報

六三 四、二

4 Kants Anthropologie und Thunbergs Aufenthalt in Japan.

Yamato (Zeitschrift der Deutsch-Japanischen Gesellschaft) 5 Hef. Sept.—Oct. 1930.

(III) 語源及譯語の研究

一、銀行なる名辭の由來に就ての研究

1 銀行なる名辭の由來に就て

國民經濟雜誌

二四、
二五、
一六五三二一 一六五三二一

大正 七、一
七、七

2 再び銀行なる名辭の由來に就て

同

二七、
二八、
一六四二一

八、七
九、一

3 銀行會館なる名辭が約二百年前支那に在せし事實の發見

商業と經濟

三 一一、一二

4 同 補遺

同

四 一二、七

5 「智環啓蒙」香港第一版長崎にて發見

同

二 一一、三

6、智環啓蒙と長崎及鹿兒島

長崎新聞

二、邦語の植民なる名辭の由來に就ての研究

1 邦語の植民なる名辭は蘭語の譯なりとの説

國家學會雜誌

三一、一二 大正 六、一二

2 再び植民なる名辭の由來に就て

同

三三、六 八、六

3 植民字考(上)

「歴史と地理」植民號

二、三 七、九

三、其の他の語原及譯語之研究

- 1 tauschen と täuschen 及 barter と Cheat に就て 「土 鈴」 二 大正 九、一八
- 2 パンを蒸餅と和譯せし古き蘭英佛獨語辭書 同 一七 一一、二二

(IV) 日蘭交通史及蘭書蘭學之研究

一、蘭書の研究

(A) 蘭文簿記書

- 1 明治以前我長崎に傳はりし蘭文伊太利簿記書 長崎高商研究館月報 六 大正 九、一一
- 2 前號所載拙稿「明治以前我長崎に傳はりし蘭文伊太利簿記書」の追録 同 七 九、一二
- 3 明治以前長崎に傳はりし蘭文簿記に就て 國民經濟雜誌 三〇、一 一、一

(B) 蘭文法律書

- 1 明治以前我國に傳はりし蘭文法律書 法律春秋 三、二 昭和 三、二

(C) 自然科學書

- ムツセンブロック著窮理書 週刊朝日 一一、二 二、七、一〇

(D) 軍事關係の蘭書

- 佐賀藩にて購入の軍事關係の蘭書 福岡日日新聞 大正一五、一一、二二

明治以前我國に傳はりし蘭文經濟書に就いては前にアダム・スミス之研究の部に掲載又蘭學に就ては「邦語の植民なる名辭は蘭語の譯なりとの説」及長崎新聞に連載されたる「譯語の研究と長崎人の著作翻譯書」等參照

二、シーボルト先生(Pr. Ph. Fr. Von Siebold) に関する研究

- | | | | | |
|---|--|---|--------|-------|
| 1 | シーボルト先生略年譜 | | | |
| 2 | 我國最初の商業學校創立計劃者としてのシーボルト先生 | シーボルト先生渡來百年記念論文集 | 同 | 大正一三 |
| 3 | 我國商業教育とシーボルト | 國民經濟雜誌 | 同 | 一三、五 |
| 4 | Dr. Ph. Fr. Von Siebold und sein erstes Projekt einer Schule für Handelswissenschaften in Nagasaki Japan | Jubiläums-band herausgegeben von der Deutschen Gesellschaft für Natur und Völkerkunde Ostasiens anlässlich ihres 60 jährigen Bestehens, 1873—1933. Teil II, Tokyo 1933. | 日本醫事新報 | 六、六〇 |
| 5 | シーボルトに就ての三點 | | | 一三 |
| 6 | シーボルト大著日本に掲ぐる溫泉嶽(Wunzentake)の繪は谷文晁畫く所の雲仙岳に據りしものなる事の考證 | 長崎談叢 | | 八、九 |
| 7 | 日歐交通史に關する文獻としてのシーボルトの著述 | 日獨文化協會發行「日獨文化」講演集シーボルト記念號 | | 一〇、一〇 |
| 8 | シーボルト先生と和蘭總理大臣トールベツケ | 科學 | 學 | 二二、一〇 |

(外交家としてのシーボルト先生の一画)

三、ツウンベルク(C. P. Thunberg) に関する研究

- | | | | | |
|---|------------------------|---------------------|--|----------------|
| 1 | ツウンベルク先生略年譜 | ツウンベルク先生渡來百五十年記念論文集 | | 大正十四年十月 |
| 2 | ツウンベルク先生と經濟(農業經濟)の研究 | 同 | | |
| 3 | 百五十年前渡來のツウンベルクと農業經濟の研究 | 國家學會雜誌 | | 三四、一〇
四〇、一九 |
| 4 | ツウンベルク氏渡來百五十年 | 國民新聞 | | 一四、九、二 |

5 鷹見家藏書中に發見したツウンベルクの著述

同

昭和二、四、五

6 ツウンベルク著日本國民志及貨幣史
西曆一七八〇年版蘭譯

同

二、七、一〇

7 Kants Anthropologie und Thunbergs Aufenthalt in Japan.

YAMATO

5 Heft Sept.—Okt. 1930.

8 我校二十周年記念文庫所藏ツウンベルク氏著
「歐洲阿弗利加及亞細亞旅行記」英譯第二版

學友會雜誌

四九 昭和二、二

四、電 氣

1 海底電信に關する我國最初の文獻に就て

福岡日日新聞

大正一〇、一二、一四

2 電氣に關する知識の我國に
傳はりし門戶としての長崎

電氣評論十周年記念號

電氣協會九州支部第五
回定期總會講演要旨

3 同

(V) 日葡交通史之研究

附、キリシタン史及日西交通史

1 慶長十四年長崎に渡來せる葡萄牙船と其の大砲

史 學 雜 誌

三〇、一二 昭和 三、一二

2 慶長十四年長崎に渡來せる葡船
Nader de Deos と其大砲

日葡協會發行
「日 葡 交 通」

一

3 西曆一六四七年長崎に渡來の葡國使節に
關する肥後細川家所藏「正保黑船來朝記」

三田史學會發行「史學」

一二、二 八、五

4 正保四年長崎に渡來の葡國使節を載せ
たる南蠻船に關する肥前大村家文書

「史 學」

一二、四 八、一二

5 日支吉利支丹史料比較の必要 長崎談叢 昭和 三、五
 6 日西交通上の長崎縣 長崎新聞 五、二

(VI) 日露交通史

1 コンチャロフ著「フレガットバルラダ」中の一節 商業と經濟 六、二 大正一五、三

(VII) 日支交通史及支那通商史の研究

1 文久二年の官船第一次上海派遣と文久三年—元治元年の上海第二次派遣に關する史料に就て 商業と經濟 五、二 大正一四、二、

(新村出博士著昭和十年二月發行遠西叢考に収録)

2 元治元年上海派遣官船「健順丸」に關する長崎側の史料 同 六、一 一四、二、

3 元治元年上海派遣官船「健順丸」に關し石渡博士提供の史料 同 八、一 昭和 二、一一

4 廣東十三行圖說 山口高商「東亞經濟研究」第十五周年記念號 六、四

5 舊き上海黃浦江岸の油繪解説 大阪朝日新聞長崎販賣所日華聯絡記念「長崎と上海」 大正一二、六

6 錦繪「唐船入津の圖」解説 同 同

7 江芸閣及びゾーフの樂翁公五十の賀詞 蘇峯先生古稀祝賀號「知友新稿」 昭和 六、一一

(VIII) 日英交通史の研究

1 日英交通史概觀

2 日英交通史料

- (一)
- (二)
- (三)
- (四)
- (五)
- (六)
- (七)
- (八)
- (九)
- (十)
- (十一)
- (十二)
- (十三)
- (十四)
- (十五)
- (十六)

朝日新聞社發行「開國文化」收錄

商業と經濟

一七、	一六、	一五、	一四、	一三、	一二、	一一、	一〇、	九、
一	二	二	一	二	一	二	一	二
一一、	一一、	一〇、	九、	九、	八、	八、	七、	七、
九	三	三	九	三	八	三	七	二
六、	六、	五、	五、	四、	四、	三、	二、	一、
八	三	一	二	七	七	二	一	一

昭和 四、二一

3 初期日英交通史の重要文獻

河津教授還曆記念
「經濟學の諸問題」

4 舊(倫敦)東印度會社と我國との交通貿易

長崎高商創立三十周年記念論文集 商業と經濟 一六、一 昭和一〇、一〇

ジョン・ブルース著東印度會社年代記

5 舊(倫敦)東印度會社と我國との交通貿易再論

商業と經濟 一六、二 一一、三

ジョン・ブルース著東印度會社年代記

6 慶長十八年イギリス通商朱印狀の研究

社會經濟史學 六、一〇 一一、二

Stris' Petition の標本 (Model) としての
英國對 Sumatra の Acheen 王との條約

7 幕末及明治時代の英國三外交官サ
トウ、アストン及ミットホルト

明治聖德記念學會編
日本文化史論文集

(IX) 都市研究

1 市史及其參考書に就て

雜誌「書誌」郷土誌料増大冊 三 大正一五、二

2 同 (追記)

書誌 一五、八

3 都市研究參考資料(一)「都市の歴史」

商業と經濟 六、二 一五、三

大日本百科辭書編輯所編纂經濟大辭書(同文館發行)第四册收録「市街鐵道」參照

(X) 教育特に商業教育

1 商業教育及び商業學科の史的回顧と長崎

長崎高商創立二十周年記念講演及論文集 大正一五、一

2 伯林高等商業學校冬期講義及演習要旨

國民經濟雜誌 二八、一
三二一
九
三二一

3 我國に於ける算盤の歴史に關する一二の資料に就て

長崎高商教育會發行
「昌明」

一一 昭和 六、一二

4 「昌明」十周年に際して

同

一三 七、一一

(XI) 工業政策及社會政策上の研究

1 雜考 雜話

東洋日の出新聞

大正五年一月より三月まで連載

2 工業政策研究上の雜考

長崎高商學友會雜誌

二〇 大正 五、七

3 社會事業としての市民館

長崎新聞

一一、六、一九

其他トインビーの研究中に掲げたるセトルメントの母トインビー館其他參照

4 演劇場改良私見(特に獨逸公立劇場より學ぶべき點に就て)

長崎新聞

七、

(XII) 長崎及長崎縣郷土史の研究

1 改造社版日本地理大系『九州篇』

1 昔の長崎地圖・2 平戸町幸橋・3 英國商館遺跡の碑・4 日蘭親交記念碑・5 昔の長崎地圖・6 シーホルト在留當時の長崎港・7 長崎出島蘭館内蘭人饗宴の圖(川原慶賀筆)・8 長崎唐館役所の錢札・9 長崎市街交易の圖・10 南蠻屏風・11 長崎西役所及波止場之圖等の解説

2 長崎の寺町

社會經濟史學(平沼淑郎博士古稀祝賀記念論文)

三、一一 昭和 九、三

長崎及長崎縣郷土に關する著述、編纂物の序文

1 増田廉吉氏編輯長崎南蠻唐紅毛史蹟第二輯序

2 仁尾環氏著 天草島原切支丹一揆史談序

3 山口晴耕氏著 歌集「雲仙」序文

4 井手傳次郎氏編 寫真「長崎」序

(XIII) 旅行記

1 航洋渡歐の途中より

2 伯林 だより

伯林だより訂正追録

3 消息と 雑考

4 南獨逸バーデン國フライブルクより

5 海外南遊記の一節 (上海、マニラ、香港、廣東及澳門旅行記の一節)

(XIV) ゲーテ及シルレル雑考

1 ゲーテと其の妹(ゲーテ誕生記念日(八月二十八日)に)

2 消息と雑考(この内にゲーテ及シルレルを論ず)

學友會雜誌

同

同

同

同

海星中學校校友會發行「海星」

昭和 三、一二

一〇、六

六、一

二、五

一二 明治四五、七

一四 大正 二、七

一六 三、七

一九 五、三

一五 三、一

八 一一、一二

大正 一二、八

一九 五、三

3	シルレル略年表	同	三七	一二、一二
4	シルレル研究參考書雜考	學燈	二六	三大正一二、三、
5	ゲーテの詩「銀杏」(Gingo biloba)	學友會雜誌	四九	昭和 二、二
6	學友會雜誌第六十一號卷頭之辭 (この内にシルレル及ゲーテの句を引用す)	同	六一	五、七
7	クリスマス及クリスマス樹の由來 (この内にゲーテの Leiden des Jungen Werthers 中クリスマス樹に關する記事を引用す)	同	六七	七、二
8	ゲーテ百年祭に因みて	同	六八	七、七
9	學友會雜誌第六九號卷頭言 (この内にゲーテの句を引用せる米國經濟學者 H. C. Carey の著書に就て論じ又シルレルの詩「地上の分割」(Die Teilung der Erde)の一節を引用す)	同	六九	八、二
(XV) 雜				
1	東海道五十三次の佐屋廻 海路を厭ふて陸路開けた佐屋路	長崎新聞	大正一三	六、二三
2	新聞史考	東洋日の出新聞	七千號記念	一三、八、二三
3	故平野松次君を憶ふ	同窓會誌	八	七、九
4	沼南島田先生を憶ふ(談話)	長崎新聞	一二、二一、二八	

5 五 月

學友會雜誌 三一 一〇、七

6 鷗外先生との對談

鷗外研究 五昭和 一一、一〇

7 お蝶夫人と長崎(一)(二)(三)(四)

長崎新聞 大正 一一、七、五

8 神父ピリオン

長崎日日新聞 一三、一、六

(XVI) 史 學 講 演

1 史學會第三十二回(昭和六年度)大會國史部會報告 史 學 雜誌 四二、七 昭和 六、七

(日蘭及日英交通史上の英艦フエートン號事件特に其艦長 Fleetwood Broughon Reynold Fellow に就て)

2 史學會第三十四回(昭和八年度)大會國史部會報告 同 四四、七 八、七

(延寶元年長崎に入港の英船 Return 號と其繪圖)

3 同(寛文十三年長崎入港の英船レターン號と其繪圖) 同 四五、七 九、七

4 史學會第三十六回大會國史部會報告 同 四六、七 一〇、七

(十七世紀初葉日英交通史料に現はれたる證券及商業帳簿)

5 史學會第三十八回大會國史部會報告 同 四八、八 一二、八

(英艦イカルス號事件及イカルス號航海記)

6 同大會西洋史部會報告 同 同 同

(倫敦東印度會社史研究の重要性)